説明文の 要旨をえらぼう

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　休みの日の朝を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

休みの日は、つい昼近くまでねてしまう。そうした週は、月曜の朝がつらかった。日曜の夜に早くふとんに入っても、なかなかねつけない。そこで、休みの日も学校のある日と同じ時こくに起きるようにした。すると、月曜の朝の目覚めが楽になった。

1. 休みの日も同じ時こくに起きると、月曜の朝が楽になる。
2. 休みの日の朝に日の光をよくあびると、月曜の朝が楽になる。
3. 日曜の夜にふだんより早くねると、月曜の朝が楽になる。
4. 休みの日にたっぷりねて体を休めると、月曜の朝が楽になる。

2　日記を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

毎日、日記を書こうと決めても、ページをうめようとすると、三日ほどで続かなくなる。そこで、一日一行だけ書くことにした。半年たって読み返すと、短い文からでも、その日のことがありありと思い出せた。続けるこつは、書く量を小さくすることだったのだ。

1. 日記を続けるには、まず書くと強く決めることが大切だ。
2. 日記を続けるには、一日に書く量を少なくするのがよい。
3. 日記を続けるには、毎日書く時こくを決めておくのがよい。
4. 日記を続けるには、書いた日にしるしをつけていくのがよい。

3　かむことを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

ごはんを口に入れたら、すぐに飲みこまずに、三十回くらいかみ続けてみよう。はじめは味がうすいのに、だんだんあまく感じてくる。これは、だえきが、ごはんのでんぷんを、あまみのあるものに変えるからだ。かむことは、味を生み出すはたらきもしているのである。

1. よくかむと、あごがきたえられて歯ならびがよくなる。
2. よくかむと、ごはんの量が少なくても満ぞくできる。
3. よくかむと、ごはんのあまみが強く感じられる。
4. よくかむと、だえきがふえて口の中がきれいになる。

4　あいさつを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

あいさつは元気な声で、とよく言われる。けれど、大きな声で言っても、名前をよんでも、相手が下を向いていると、気づかれずに通りすぎてしまう。相手と目が合ったところで言うと、小さな声でもきちんと返ってくる。あいさつは、言う時で伝わり方が変わるのだ。

1. あいさつは、相手の名前をつけて言うと、相手に伝わる。
2. あいさつは、自分から先に言うと、相手に伝わる。
3. あいさつは、大きな元気な声で言うと、相手に伝わる。
4. あいさつは、目が合ったときに言うと、相手に伝わる。